

今後の中学校部活動の在り方について

学校教育部 学校教育室 教育指導課

1. 政策等の背景・目的及び効果

現在中学校で実施されている部活動については、生徒間の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が自己肯定感を高めたりするなどの教育的意義とスポーツや文化芸術に触れ、生涯にわたってスポーツや文化芸術を継続する資質や能力の意義も有しています。

しかしながら、こうした中学校部活動は、各学校事情により設置数や設置種目に差異があります。また、指導にあたる教員については、意思に関わらず経験のない活動の指導をせざるを得ない状況や、休日も含めた部活動の指導や大会への引率、運営への参画が求められるなど、教員にとって大きな業務負担となっている現状があります。

今回、スポーツ庁及び文化庁において、地域との連携・協働により生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することをめざし、「学校部活動及び新たな地域クラ

ブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定されました。本市においてもこのガイドラインに基づき、保護者や学校、関係団体等と組織した協議会を設置し、意見等を聴取しながら、学校部活動の地域連携及び地域の運営団体・実施主体による地域クラブ活動への移行に向けて取り組むものです。

2. 内容

(1) 協議会の開催（仮称「ひらかたモデル」（地域クラブ活動ガイドライン）の策定に向けて）

本市における地域クラブ活動の在り方等について、設置する協議会において意見聴取等を行い仮称「ひらかたモデル」の策定をめざします。

【協議会議案】

- ①地域クラブ活動「ひらかたモデル」における指導者の質の保障・量の確保方策について
- ②地域クラブ活動「ひらかたモデル」における施設の確保方策について
- ③地域クラブ活動「ひらかたモデル」における会費の在り方
- ④地域クラブ活動「ひらかたモデル」における保険の在り方 等

(2) 地域クラブ活動の整備、学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けて

策定された仮称「ひらかたモデル」を基に地域クラブ活動等を活用し、一部の地域・部活動で試行実施し、検証を行います。

3. 実施予定時期等

(1) これまでの経緯

令和4年度（2022年度）については、令和3年度（2021年度）に実施した教職員対象の部活動に係るアンケートの結果分析、社会スポーツや文化芸術活動の推進を担う担当課と複数回、担当課会議を行い、課題の割り出し等を行ってきたところです。

(2) 令和5年度（2023年度）

- 協議会の開催
- 一部の地域・部活動の試行実施・検証

(3) 令和6～7年度（2024～2025年度）

- 試行実施の拡充・検証

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち
施策目標16 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち



5. 関係法令・条例等

学習指導要領（平成29年度（2017年度）告示）

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

6. 事業費・財源及びコスト

（1）本事業費

（協議会開催費用として）

《事業費》380千円（報償費）令和5年度当初予算計上

《財源》一般財源380千円

(2) 関連事業費

(部活動指導協力者派遣事業として)

《事業費》16,625千円 (報償費) 令和5年度当初予算計上

《財源》一般財源16,625千円